



まちづくり新聞

発行：平取町まちづくり課地域戦略係

第4号



若者・若手職員 「まちの未来について語るワークショップ」

■商工会・JA・役場の若者・若手職員が「まちの未来」について話し合いました

11月17日(月)、平取町商工会・JAびらとり・平取町役場の若者・若手職員による「まちの未来」について考えるワークショップが行われました。

32名の参加者が6つのグループに分かれて話し合うグループディスカッション形式で進められ、5つのテーマについてそれぞれのグループで意見を出し合いました。

テーマ①

平取町の

自慢

- 自然豊か(山林がある)、景色がすばらしい(幌尻岳等)
- 農産ブランドがある(トマト・和牛・黒豚・お米等)
- 温泉等の観光資源がある
- 馬産地である
- アイヌの歴史がある
- 雪が少なめ(除雪が楽)
- 空港や都市に近い
- 学校給食がおいしい
- 子育て支援が手厚い、新規就農(支援制度)がある
- 人がおだやか、人がいい、人が温かい

テーマ②

平取町の

課題

- 買い物が不便、地域によってはコンビニ等が遠い
- 人口減少、少子高齢化で保育所、小学校が少なくなっている
- 若者の定着、働く場所の確保
- 若者が住む場所を増やす(公営住宅の老朽化⇒綺麗な賃貸住宅を増やす)
- 公共交通が不便(限られている)、高齢の方の交通アクセスが悪い
- 大きい病院に行けない(具合が悪いときに自分で運転して大きい病院に行っている)
- 仕事の担い手不足、人材不足
- 飲食店の不足
- 子どもが遊ぶところが少ない
- 鹿や熊等の害獣



若者・若手職員 「まちの未来について語るワークショップ」

テーマ③

10年後、

どんな
まちに
したい？

- Uターン、Iターンできるまち
- 若年層が住みたいと思えるまち
- 移住者に選ばれるまち
- 戻ってきたくなるまち
- 家・職場・インフラが確保してあるまち
- 交通機関のもっと整ったまち
- 町内での子ども同士の交流が盛んなまち
- 若い人たちが交流できる、飲食店や娯楽のあるまち
- 子育て世代の支援を強化しているまち、子どもが住みやすいまち
- 活気があるまち
- ハイテク技術で快適なまち
- 観光客で賑わうまち
- 住みやすいまち
- 道の駅があるまち
- 観光と農業で収入増のまち

テーマ④

これからの

平取町
に期待
すること

- 若者・移住者の増加とそのための施策
- 若者の居場所がある、若者が関わり続けられるまち
- 雇用の確保(特産品等で雇用創出)、観光業とかでいろんな人を呼び込む
- 挑戦しやすい環境づくり、小さな挑戦を応援するまち
- 子育て世代にも手厚いまち
- 住宅整備、住宅補助
- 色々な店舗が増えてほしい
- 知名度の向上、町民が自慢できるまち
- 交通手段の充実
- 札幌圏の会社へ交通費支給

テーマ⑤

将来像

「〇〇な
町」

- 世代問わず魅力的な町
- 色々な人が来たくなる町
- 若者が帰ってきたくなる・移り住みたくなる町
- 若者が輝ける町
- いきいきと暮らせる町
- 子どもが戻ってきたいような町



【予告】パブリックコメントの実施

第7次平取町総合計画の素案完成にあたり、1月下旬よりパブリックコメント(意見公募)を実施いたします。詳細が決まりましたら、HPや広報びらとりにてお知らせいたします。

平取町公式キャラクター ビラッキー

